

インドネシアではなぜ右ハンドルなのか —世界史の視点から見たアジア理解—

スピーカー 小座野 八光 氏
(外国語学部中国学科 准教授)

自動車のハンドルが右についているか左についているかは、その国の交通法規を反映したもので、第二次世界大戦に独立したアジア諸国では概して旧宗主国と同様のシステムが踏襲される場合が多い。しかし、かつてオランダ領であったインドネシアでは、ハンドルはオランダ式の左側にではなく、日本やイギリス同様、右側についている。世界史の視点からこの疑問を解き明かしつつ、アジア諸国にとっての「近代」のあり方を考えてみたい。



日時 11月8日(水曜日) 12:05~12:50

場所 iCoToBa(予約不要)

iCoToBaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食OKのカジュアルなセミナーです。
グローバル＆グローバルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう！